

2019 年度実施概要

学校名

市川市立塩浜学園（千葉県）

採択活動名

塩浜の生物と環境 ～嵐潮ひかる海原に～

取り組みの概要

本校は、「ふるさとを愛し、自ら夢を持ち、心豊かで、たくましく生きる児童生徒の育成 ～人をつなぐ 未来へつなぐ～」を教育目標とする。

特色の一つとして、教育課程特例による教科「塩浜ふるさと防災科」を設置し、9年間の「系統性・連続性」を重視し「ふるさと塩浜の歴史や自然環境に触れて理解を深める」ことを目標にしている。海洋教育は、この教科で展開し「平成28、29年度単元開発部門」「平成30年度地域展開部門幹事校」として、3年間の試行錯誤の中で単元計画と教材の整備を進めるとともに、地域展開校教職員の意識改革に着手した。昨年度、本年度は、教材を充実させて教育効果を高め児童生徒の「ふるさと愛」をさらに向上させるよう取り組んできた。

「塩浜ふるさと防災科」は、9年間の学びをつなぐ次の4つの推進の視点を掲げている。

- 【A】 人間として生き方に迫る
- 【B】 防災リテラシーを身につける
- 【C】 地域への理解と愛着を深める
- 【D】 科学的理解を深める

海洋教育パイオニアスクールプログラムの展開は、主に上記【C】に関連した単元開発及び改善を行う。主にふるさと（海洋教育）について学習する学年と、主に防災について学ぶ学年があるが、各学年間で学習成果を相互に発信・交流することを通じて、学びを広め深める活動を重視する。

■ 令和元年度の主な取り組み

○ 3 学年【単元】「塩浜の自然大好き」

- ・ 行徳野鳥観察舎・鳥獣保護区の干潟のフィールドワーク
- ・ ハイタウン塩浜には、緑いっぱい！花いっぱい！
- ・ 浦安
- ・ のりすき体験（2月）

○ 4 学年【単元】「塩浜シーワールド」「塩浜レンジャー」

- ・ 船上学習「海からふるさとを眺める」

地域の遊船営業所から漁船に乗り、江戸川放水路から三番瀬、ディズニーマシー付近をクルーズ。ふるさと塩浜の海を体験。

- ・水族館作り「生き物を飼育し公開」・・・12月、1月
行徳鳥獣保護区から、浅瀬に生息する海洋生物を借用して空き教室に水族館を作った。
また、生物の飼育のために、必要な環境設定やえさの準備、人工海水作りなどについて、鳥獣保護区の学芸員（ゲストティーチャー）から学ぶ。
- ・のりすき体験（2月）

○5 学年【単元】「災害への備え 塩浜の安全対策」

- ・塩浜安全マップの作成
災害時（津波等）に必要な物、災害が起きた時の救助方法、ボランティアの方々の動きを知る。

○6 学年【単元】「塩浜応援隊」

- ・高齢者について学ぶ
地域で急激に進む高齢化の状況や高齢者の日常生活を体験し、塩浜に暮らす自分たちにできることを考える。（車イス体験、アイマスク体験、高齢者体験）

○7 年【単元】「いざという時何ができる」

- ・塩浜地区の災害への備え
防災リテラシーを高め、危機回避について、体験を通じて学ぶ。
- ・「海の中の考古学」 海洋考古学者 山船晃太郎 氏から学ぶ

○8 学年, 9 学年【単元】「塩浜ふるさと防災科」

※ゼミ形式で、防災又はふるさとから、テーマを選択し、縦割り6グループのゼミに分かれて活動

- ・ふるさとの三番瀬を守ろう（海洋教育関連ゼミ）

学 年	教科・領域	テーマ	
8, 9 年	塩浜ふるさと防災科	A	救急救命
		B	避難訓練の運営
		C	そなエリア
		D	三番瀬
		E	少子高齢化
		F	地域行事の運営

- ・9/7（金）三番瀬環境学習館出前授業
- ・10/26（金）三番瀬海浜公園訪問

令和元年11月21日（木）に県教委、市教委、市内安全教育担当、学校運営協議会委員保護者、防災に関する実践委員、保護者、地域の希望者を招き、ゼミ発表会（授業展開）を実施した。

○9 学年【特別授業】

- ・聖徳大学の増井三夫副学長による特別授業（最新の大学授業）
「探究するとは？コロンブスの航海から」